



令和3年度学校だより

甲府市立南西中学校

銀杏 (いちょう)

第6号

学校教育目標 「たくましい心と体を持ち 学び合える生徒の育成」

文責：校長 石井 敬

ご協力ありがとうございました！～小中合同一斉引き渡し訓練～



午前中まではどんよりとした天気だったのが、午後になると太陽が顔をのぞかせ夏を思わせるような日差しの中での「引き渡し訓練」となりました。事前の引き取り者の確認から当日の行動に至るまで、保護者の皆様のご理解とご協力により、訓練は思っていた以上にスムーズに行うことができました。

この「引き渡し訓練」は、私自身の子どもたちが小学生だった頃、私や妻が引き取りに行っていましたので、少なくとも20年以上にはなろうかと思えます。その間、11年前の東日本大震災の際には、私たちも“震度5弱”の揺れの恐ろしさを体験したものの、「引き渡し訓練」が現実のものとなることは幸いにもありませんでした。それだけに、地震などに対する物心両面の備えはどうしても薄れがちであることは否めません。年に一回ではありますが、この訓練を災害と向き合う貴重な機会ととらえ、実際にこのような対応が必要になったときのことも含め、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。また、お気づきの点がございましたら、ご意見等をお寄せいただけますと幸いです。



【確認！】 全校生徒を学校に待機させ、保護者への引き渡しを行う場合

- ◇震度5弱以上の地震があった場合
- ◇台風・大雪・大雨等でブロック塀や建物の倒壊、河川の氾濫が確認された場合
- ◇凶器を持った不審者の徘徊、校舎内外で突発的な事件や事故が発生した場合

市総体に向けて！

諸活動の自粛から解放され、放課後のグラウンドや体育館、校舎内には部活動に励む子どもたちの歓声がまた戻ってきました。先週は、2年生から3年生へ“総体に向けての応援メッセージ”が届けられ、各部・各自ともますます士気を高めているのではないかと思います。コロナへの感染とケガには十分に気をつけながら練習を重ね、大会当日は最高のパフォーマンスが発揮されるものと期待しています。活動が出来なかつたり大会参加を見送ったりと悔しく、辛



い思いをした分、それを簡単にはあきらめない強い気持ちに変えて、南西旋風を巻き起こしてほしいと願っています。

また、昨日は壮行会が行われ、総体に向けて南西中全体で士気を高めました。大きな声を出すことは控えた手拍子による応援でしたが、応援委員会をリーダーにした息の合った応援は選手の背中をグッと押しました。総体当日、子どもたちはいろいろな思いを胸に、全力を尽くして輝いてくれるものと期待しています。



新たな学び、少しずつですが前へ・・・



2年生の教室の前を通りかかると、2年1組では英語の授業中。ペアになって入国審査のやり取りを練習しており、私も足を止めて何人かの練習成果を聞かせてもらいました。英語教育では「聞く」「読む」「話す」「書く」の4つの技能を相互に関連させながら、バランスよく身につけることが求められていますが、今年度から始まった新学習指導要領では、「話す」の領域が【やり取り】と【発表】とに細分化されました。特に【やり取り】では、身近な話題で自分の考えや気持ちを伝え合う、対話を継続させる即興的な話す力が重視され、子どもたちが目的や場面、状況に応じて英語を使う、英語でコミュニケーションを図る活動が、これまで以上に必要になっています。入国審査のやり取りもその一つで、入国審査という場面で求められる表現や語句を習得しつつ、相手との受け答えに応じた聞き返したり確かめたり、相づちを打ったり、関連する質問を付け加えたりしながら会話を継続、発展させることができるような子どもたちにしていくのが目標です。

もちろん、指導の成果が出てくるのには時間がかかりますが、英語を用いた言語活動に取り組みせながら学ばせるという視点を大事にして、本校二人の英語教師は今日も奮闘しています。

一方、3年生は、総合の時間を使って“GIGA開き”を行いました。GIGAとは聞き慣れない言葉だと思いますが、**G**lobal and **I**nnovation **G**ateway for **A**llの略で、文部科学省が進める『GIGAスクール構想』に基づいて、今後、教育のICT化に関する取り組みが進んでいくこととなります。写真を見ていただくとわかるように、子どもたち一人一人にはすでに1台ずつ端末が整備され、アカウントとパスワードも配付されました。本格的な運用は10月からとなりますが、今月からは授業等において試行的な運用・実施をできるところから少しずつ始めていきます。この日も、子どもたちは事前に用意された設問に回答しながら基本的な操作方法を学ぶとともに、回答結果が瞬時に集計されグラフ等にわかりやすく表示されるのを見て歓声を上げていました。



また、私たち職員も10月までの4か月ほどは、研修や講習を通してChrome bookをどう活用することが子どもたちの学びを豊かにすることができるかを研究していきます。したがって、何でもかんでもICTを活用するということではなく、従来の学び方、教え方の良さも生かしつつハイブリッドな授業づくりを心がけていきたいと思っています。

お詫びと訂正

前号の学級役員の紹介で3年2組の名執さんの名前を間違えてしまいました。正しくは「名執華称」さんです。お詫びして訂正いたします。